

2015年度ホームカミングデー開催

11月8日、白山キャンパスで「第18回ホームカミングデー」を開催しました。今回、メイン企画の1つは、学校法人東洋大学 京北幼稚園 園長 川合正氏による「子どもの可能性を伸ばす親、つぶす親～対話一つで成績も行動も変わる～」の講演会。さまざまな年齢の育児・教育に携わってきた川合氏の経験に基づいたお話で、聴講者の子育てへエールを送っていただきました。

また、もう1つのメイン企画として、プロマジシャンの黒崎正博氏が自ら創設した「マジシャンズ・ソサエティ」サークルの学生とのコラボレーションによるマジックショーは、会場の卒業生、家族、子どもたちを大いに魅了しました。

その他、来場者参加型企画を充実させて、卒業生を母校にお迎えしました。なお、当日は、浦水会「会員の集い・就職フォーラム」を同時開催。在学生の父母も多数来場し、キャンパスは大変賑やかになりました。



「親子で楽しめる」



6号館2階では体験教室が人気。書道体験に、ストローを使った飛行機作り、はさみやカッターを使った工作、体の反応速度を測る実験教室があり、多くの親子連れで賑わいました。

「社会貢献センターシンポジウム」



日本の私立大学として初めて女子の入学を許可した東洋大学。2016年に迎える男女共学教育100周年を記念し、本学卒業生の女性パネリストを招き、ディスカッションを行いました。

「学生音楽系サークルによる演奏」



6号館地下1階の食堂の特設ステージでは学生たちによる演奏会を開催。グルービーサウンズ・ジャズオーケストラ、ギターアンサンブル、軽音ジャズサニーの3組が登場しました。

「東洋大学は今」



6号館1階では陸上競技部や硬式野球部をはじめとする運動部の活動状況や、現在の大学の取り組みについてなど、パネル展示を行いました。

ライフデザイン学部10周年

ライフデザイン学部が開設10周年を迎えたことを記念し、朝霞キャンパスでは多彩なイベントを開催しました。11月25日には記念式典を挙行。続いて基調講演会や記念シンポジウムが開催され、当日は700名を超える在学生・卒業生、関係者が参加し、会場は喜びに包まれました。

「基調講演会・記念シンポジウム」

基調講演は、リオデジャネイロパラリンピック競泳競技日本代表決定の木村敬一氏による「夢への努力は今しかない!」。記念シンポジウムでは「本格的な少子高齢社会の到来とまちづくり」をテーマに、ライフデザイン学実践の観点から朝霞市長および本学教員によるパネルディスカッションを行いました。

10周年を記念してさまざまなイベントを開催

- 「幸せな暮らしの作り方」
作文・アートメッセージコンテスト
- スポーツ大会
- ホームカミングデーin朝霞
- 学科・専攻の主催する各種イベントなど



記念式典当日、白石弘巳学部長による未来宣言